

2017年度 決算概要

2018年5月8日

沖電気工業株式会社

本日のご説明内容

1. 17年度 通期決算について
 - 1-1) 2017年度の振り返り
 - 1-2) 決算の概要
 - 1-3) セグメント情報(売上高)
 - 1-4) セグメント情報(営業利益)
 - 1-5) 営業利益の変動要因
 - 1-6) B/Sの概要
 - 1-7) キャッシュフローの概要

2. 18年度 計画について
 - 2-1) 2018年度の方針
 - 2-2) 売上高・利益計画の概要
 - 2-3) セグメント情報
 - 2-4) 営業利益の変動要因
 - 2-5) フリーキャッシュフロー
 - 2-6) 設備投資・研究開発投資

2017年度の振り返り

▶ 成果

- ・社会インフラ領域でのIoT利用ビジネスをスタート
- ・国内ATMのフルアウトソーシングサービスが拡大
- ・プリンター事業の構造改革を実施し、ベースの収益力を強化
- ・沖電線を完全子会社化し、EMS事業成長の基盤を強化
- ・財務基盤は安定し、引き続き安定配当を実施予定

▶ 課題

- ・期初計画未達成の主要因である、海外ATM市場の環境変化に対する抜本的な対応

決算の概要

- 売上高は前年比、計画比とも減少、営業利益は計画未達も前年比増益
- 前年度の営業外為替差損が今年度は差益に転じ、経常損益は前年比で改善
- 期末配当金は1株当たり30円を実施の予定(計画通り)

(単位:億円)	17年度 実績	公表 計画	計画比	16年度 実績	前年比
売上高	4,380	4,550	△170	4,516	△136
営業利益	77	130	△53	25	+52
経常損益	85	120	△35	△24	+109
(親会社株主に帰属する) 当期純利益	59	80	△21	47	+12
USD平均レート(円)	110.9	110.0		108.4	
EUR平均レート(円)	129.7	115.0		118.8	

セグメント情報(売上高)

- 情報通信は一部官庁向けが好調な一方、NW関連等で18年度へ期ずれ
- メカトロシステムはATMの海外市場における販売が不振
- プリンターは為替円安の効果も一部あるが概ね計画通り
- EMSは半導体関連機器向けなどのPCBを中心に好調
- その他は前年度に連結子会社株式を売却、今年度4Qより沖電線を連結

(単位:億円)	17年度 実績	公表 計画	計画比	16年度 実績	前年比
情 報 通 信	1,727	1,830	△103	1,774	△47
メカトロシステム	935	1,050	△115	1,009	△74
プ リ ン タ ー	1,089	1,060	+29	1,124	△35
E M S	477	490	△13	432	+45
そ の 他	152	120	+32	178	△26
合 計	4,380	4,550	△170	4,516	△136

セグメント情報(営業利益)

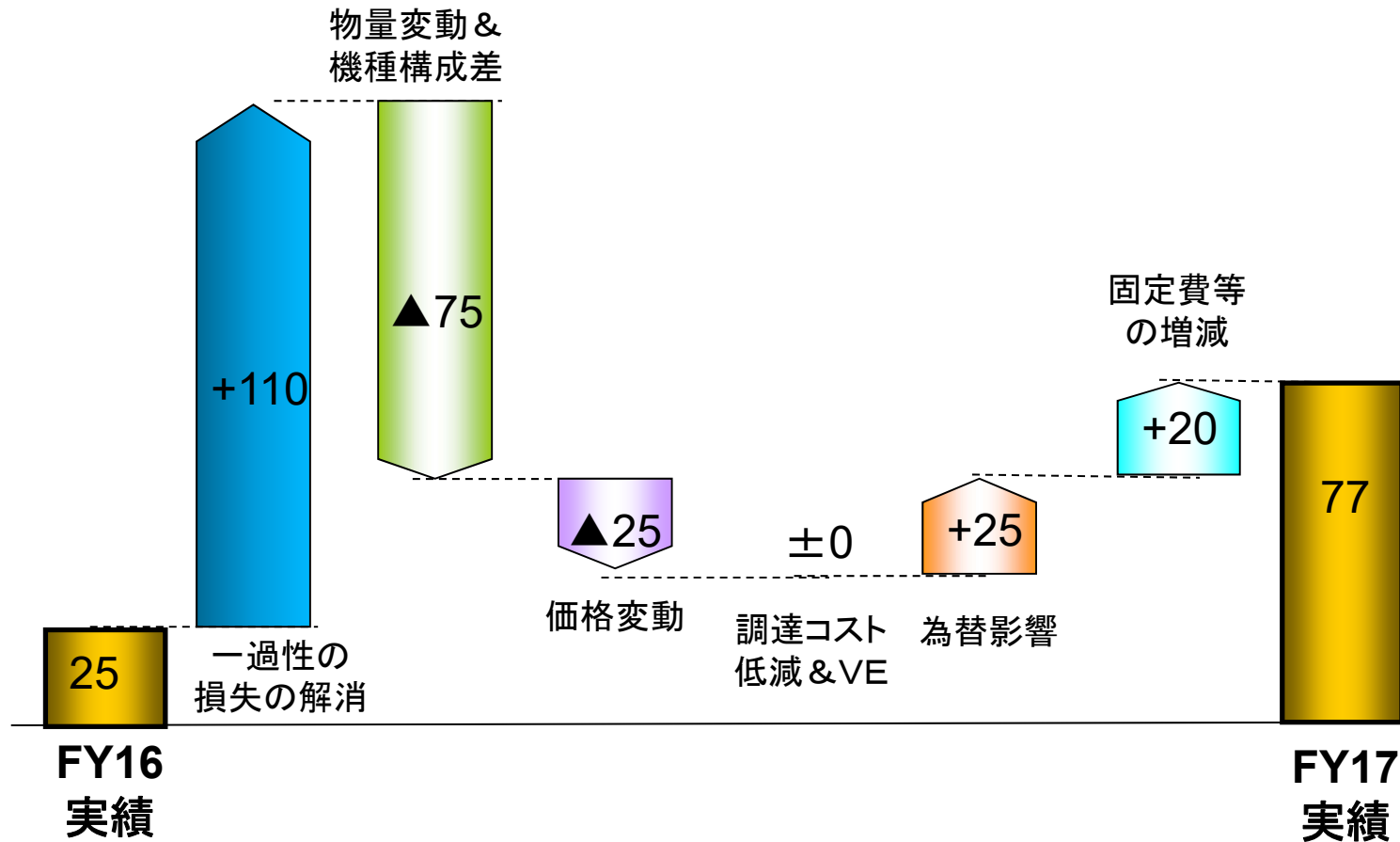
- 情報通信は売上は減少したもののミックスの改善と費用減がリカバリ
- メカトロシステムは物量減により計画比悪化、一過性の費用解消により前年比良化
- プリンターは構造改革に加えて為替の効果により増益
- EMSは売上の増加にともなう物量増により前年比では増益
- その他は連結子会社の異動にともなう影響(前頁ご参照)

(単位:億円)	17年度 実績	公表 計画	計画比	16年度 実績	前年比
情 報 通 信	135	135	0	144	△9
メカトロシステム	△51	10	△61	△118	+67
プ リ ン タ ー	27	10	+17	10	+17
E M S	22	25	△3	21	+1
そ の 他	20	15	+5	34	△14
消 去 ・ 本 社 費	△77	△65	△12	△65	△12
合 計	77	130	△53	25	+52

FY2017 営業利益の変動要因(前年対比)

● 一過性の損失は解消、構造改革を実施

(億円)



B/Sの概要

- 沖電線(株)の連結により総資産が増加
- 自己資本比率およびDEレシオは維持

(単位:億円)	18年3月	17年3月	前年度末比
流動資産	2,304	2,315	△11
固定資産	1,414	1,292	+122
資産の部	3,718	3,607	+111
流動負債	1,867	1,766	+101
固定負債	830	869	△39
負債の部	2,696	2,635	+61
自己資本	1,002	969	+33
その他	19	3	+16
純資産	1,021	972	+49
負債及び純資産合計	3,718	3,607	+111
自己資本比率(%)	26.9	26.9	-%
DEレシオ(倍)	0.8	0.9	△0.1倍

キャッシュフローの概要

- フリーキャッシュフローは51億円の収入
- 有利子負債の削減などにより現金同等物が減少

(単位:億円)	17年度	16年度	前年差
I 営業キャッシュフロー	156	420	△264
II 投資キャッシュフロー	△105	76	△181
フリー・キャッシュフロー(I + II)	51	496	△445
III 財務キャッシュフロー	△115	△440	+325
現金および現金同等物の残高	455	520	△65
固定資産取得額	94	140	△46
減価償却費	130	140	△10

フリー・キャッシュフローおよびキャッシュフロー計については、各項目の億円単位での合計値で表示しています

本日のご説明内容

1. 17年度 通期決算について
 - 1-1) 2017年度の振り返り
 - 1-2) 決算の概要
 - 1-3) セグメント情報(売上高)
 - 1-4) セグメント情報(営業利益)
 - 1-5) 営業利益の変動要因
 - 1-6) B/Sの概要
 - 1-7) キャッシュフローの概要

2. 18年度 計画について
 - 2-1) 2018年度の方針
 - 2-2) 売上高・利益計画の概要
 - 2-3) セグメント情報
 - 2-4) 営業利益の変動要因
 - 2-5) フリーキャッシュフロー
 - 2-6) 設備投資・研究開発投資

2018年度の方針

持続的な成長の軌道へ回帰する

- 情報通信はIoT利用の共創ビジネスの実績を拡大する
- メカトロシステムは戦略の見直しを行い、早期に損益イーブンを達成する
- プリンターはインダストリー市場向け新規売上の実績を拡大する
- EMSは沖電線とのシナジー効果を発揮し成長を加速する
- 引き続き財務基盤の安定および強化を図り、安定した株主還元を継続する

売上高・利益計画の概要

- 前年度比較で年間での売上高増加、営業および経常増益を計画
- 年間配当金は50円を計画(期末時に実施予定)
- 為替レート的前提 USD110円 EUR130円

(単位:億円)	18年度計画		17年度実績	
	通期	2Q累計	通期	2Q累計
売上高	4,500	1,960	4,380	1,940
営業利益	140	△30	77	△41
経常利益	130	△35	85	△33
(親会社株主に帰属する) 当期純利益	50	△60	59	△46

セグメント情報

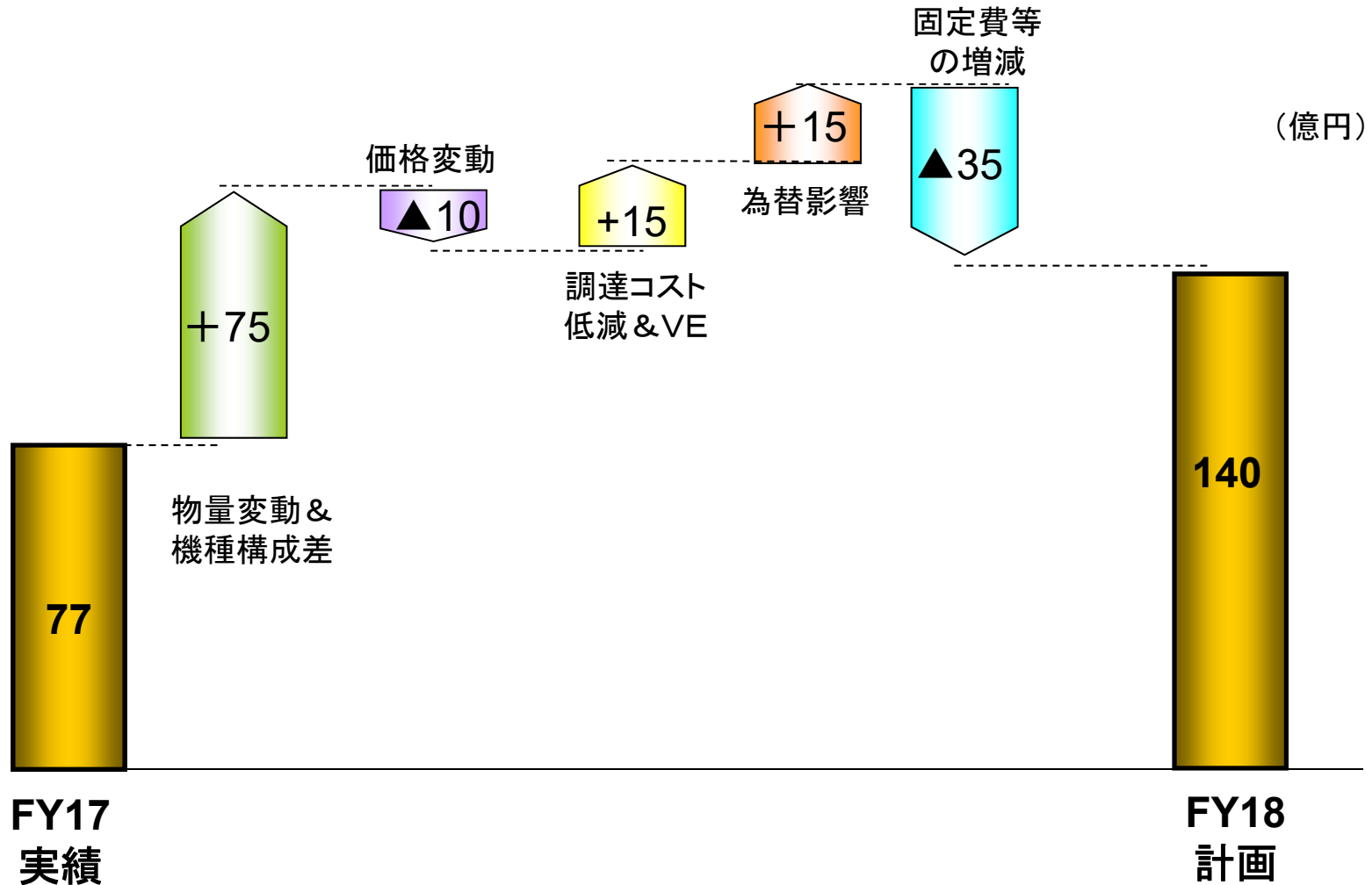
- 情報通信は社会インフラや一部官庁向けの売上を伸長
- メカトロシステムは、海外ビジネス中心に構造改革を実施
- プリンターはインダストリー市場開拓、売上構成比の改善を目指す
- EMSは既存ビジネスの好調を維持し新規受注を拡大

(単位:億円)			18年度計画		17年度実績	
			通期	2Q累計	通期	2Q累計
情報通信	売上高		1,850	700	1,727	685
	営業利益		140	△5	135	1
メカトロシステム	売上高		830	400	935	454
	営業利益		0	△15	△51	△30
プリンター	売上高		1,050	500	1,089	518
	営業利益		35	5	27	6
EMS	売上高		710	330	555	244
	営業利益		45	15	32	10
その他	売上高		60	30	74	39
	営業利益		5	0	10	6
消去・本社費	営業利益		△85	△30	△77	△34
合計	売上高		4,500	1,960	4,380	1,940
	営業利益		140	△30	77	△41

※EMSおよびその他の17年度実績はリステート後

営業利益の変動要因

- 物量増加および機種構成の改善効果、投資等を増加



フリー・キャッシュ・フロー

- 成長投資を継続しながら、安定したフリー・キャッシュフローを創出

(単位:億円)	18年度	17年度	前年差
I 営業キャッシュフロー	190	156	+34
II 投資キャッシュフロー	△130	△105	△25
フリー・キャッシュフロー(I + II)	60	51	+9

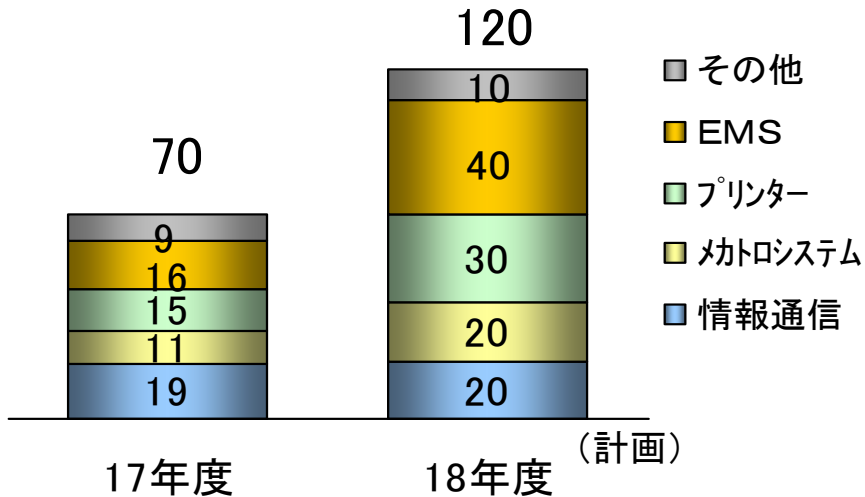
設備投資、研究開発投資

設備投資(有形固定資産)

研究開発投資

(単位:億円)

【投資額】



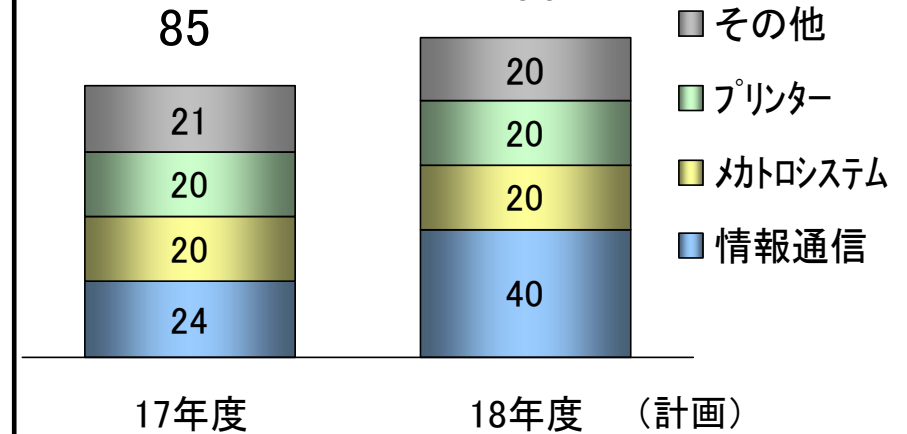
【減価償却費】

90

95

85

100



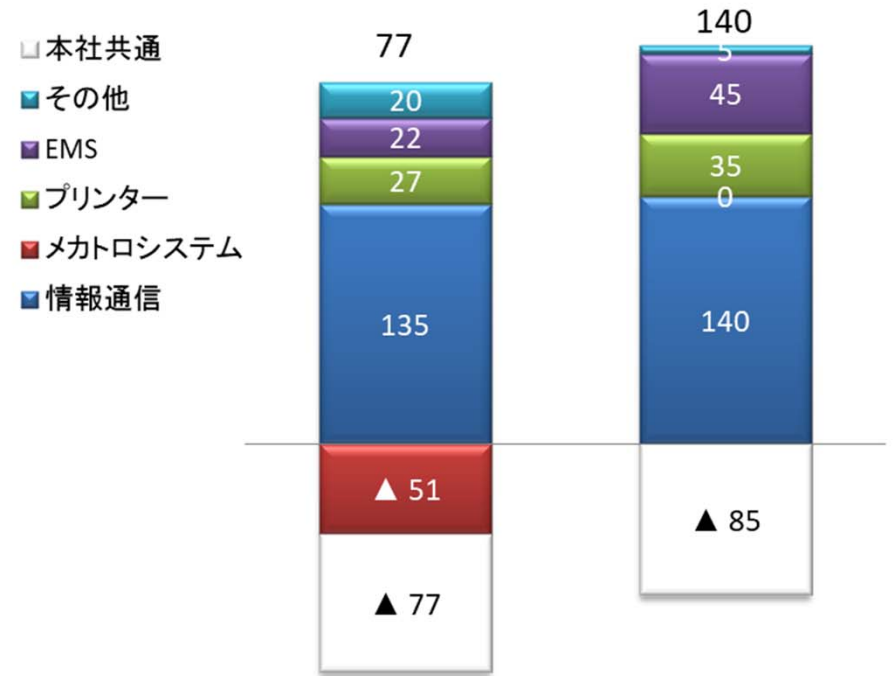
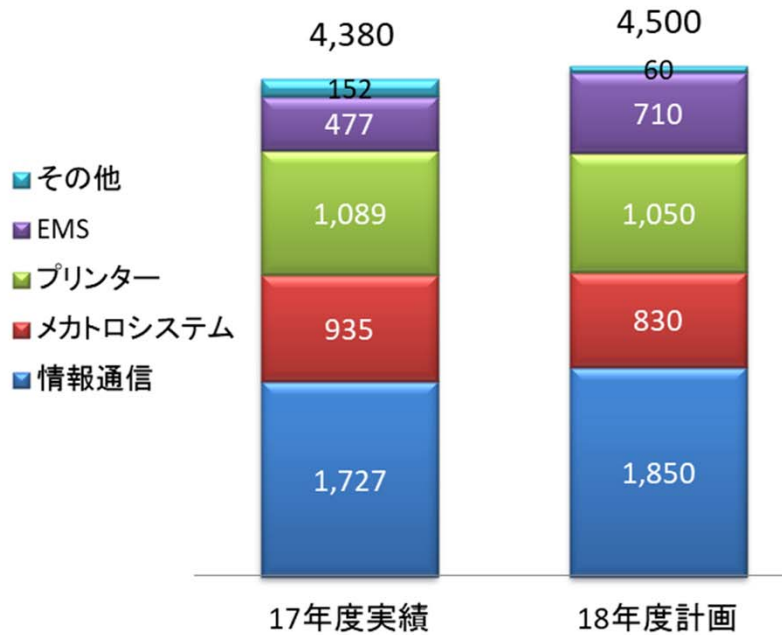
参考資料

セグメント別 売上高・営業利益(通期)

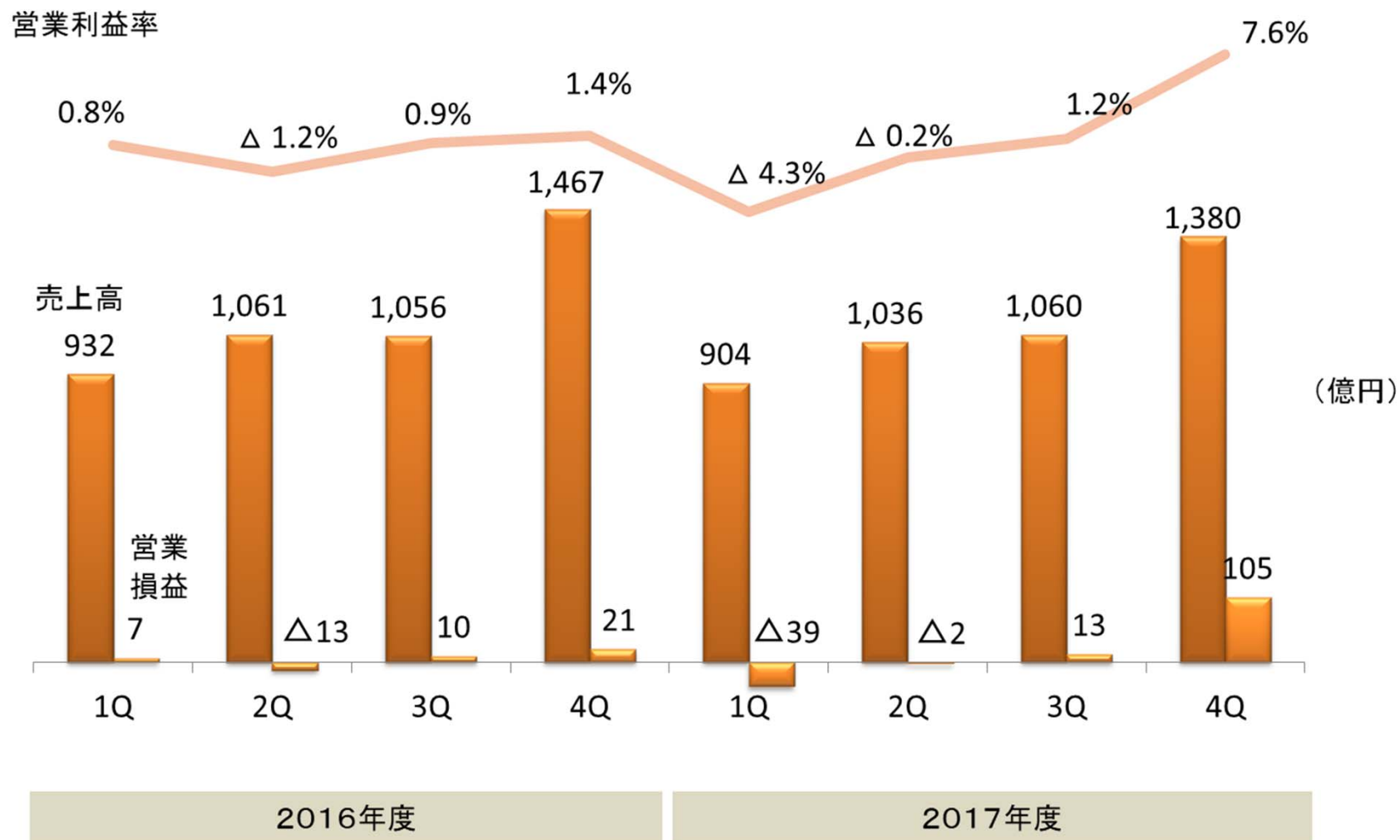
(億円)

【売上高】

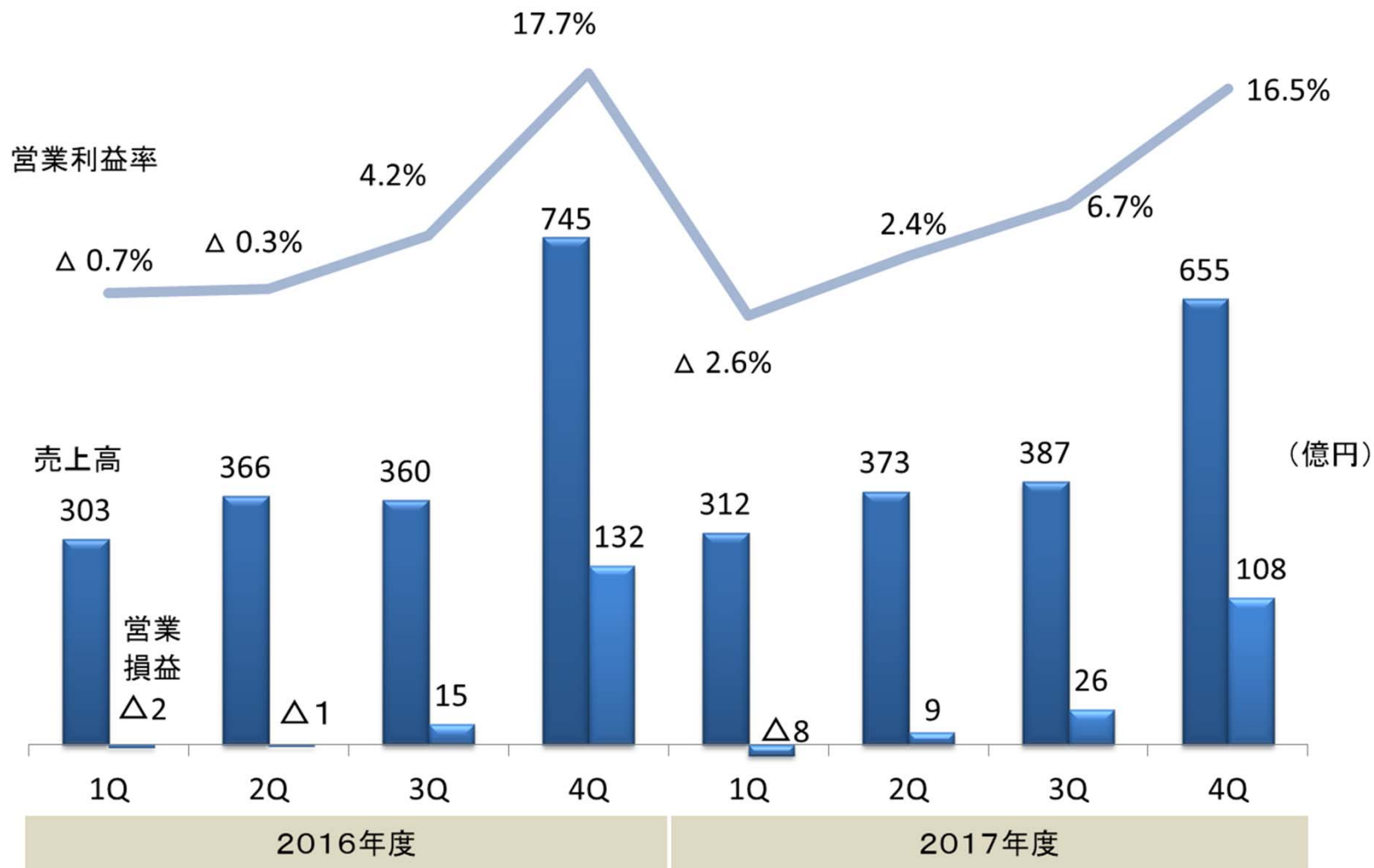
【営業利益】



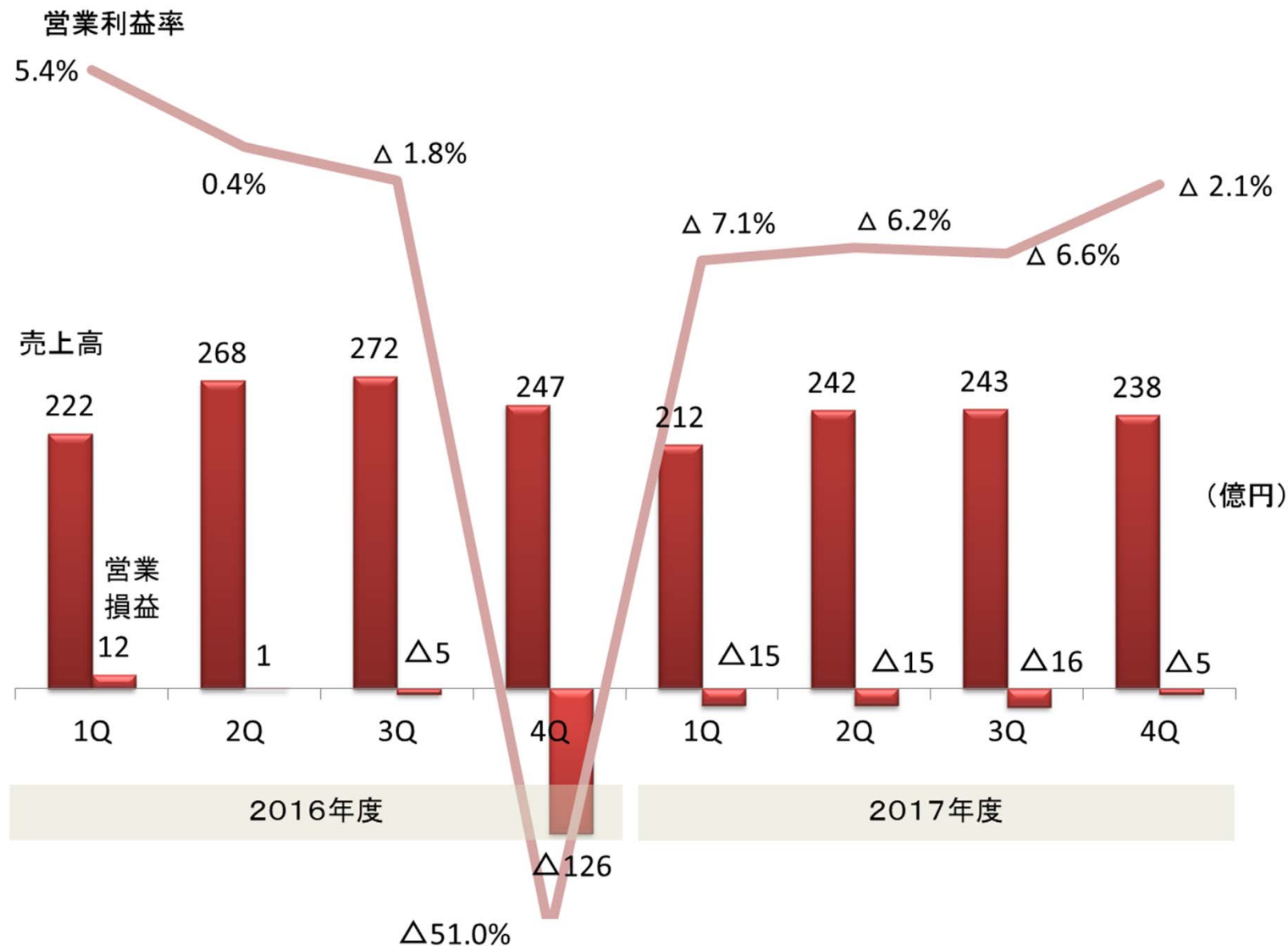
売上高・営業損益 四半期推移(全社)



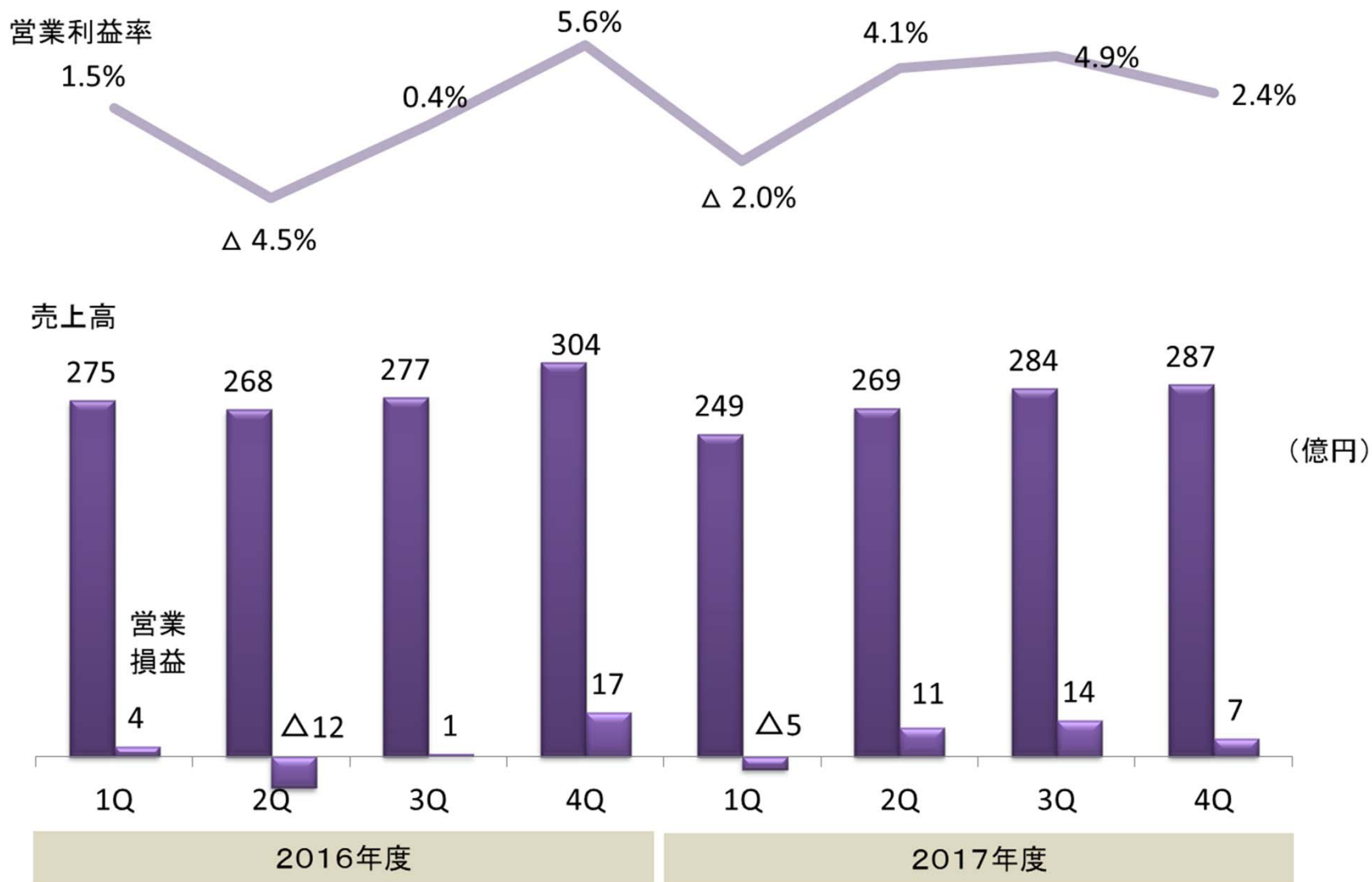
売上高・営業損益 四半期推移(情報通信)



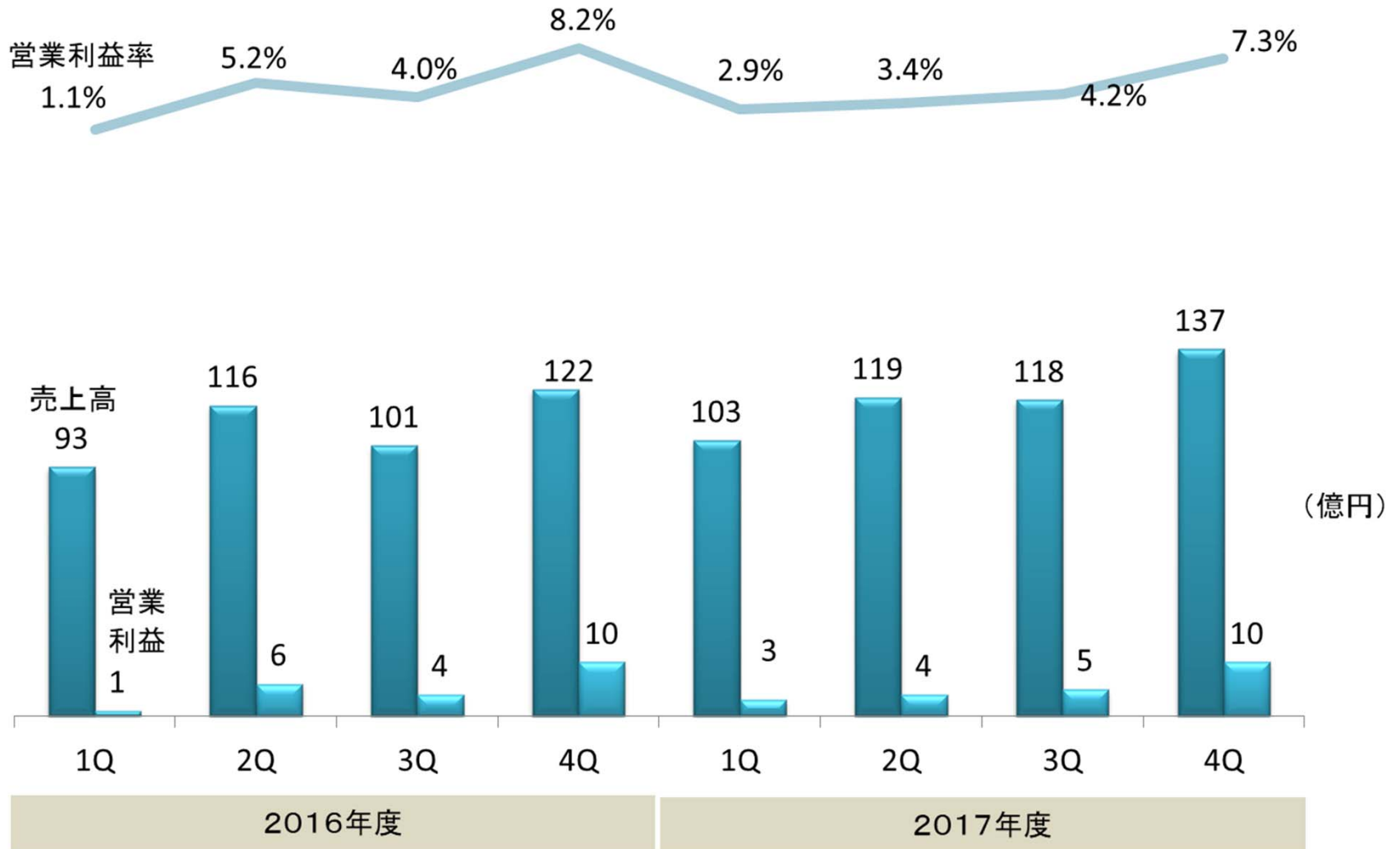
売上高・営業損益 四半期推移(メカトロシステム)



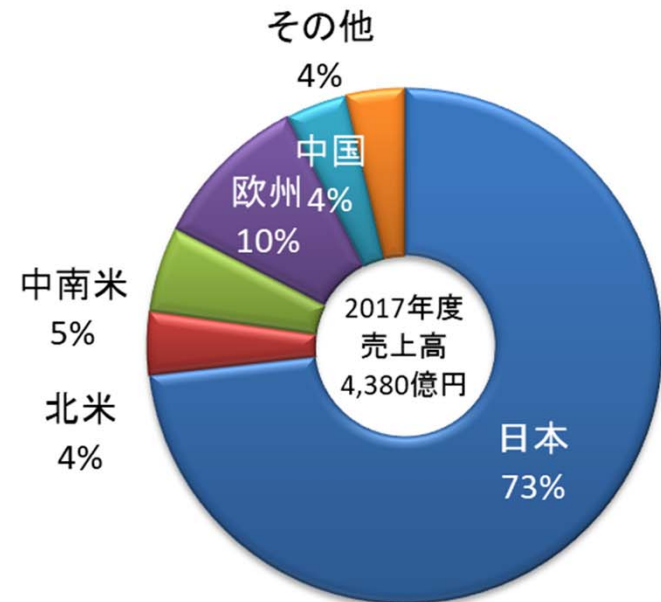
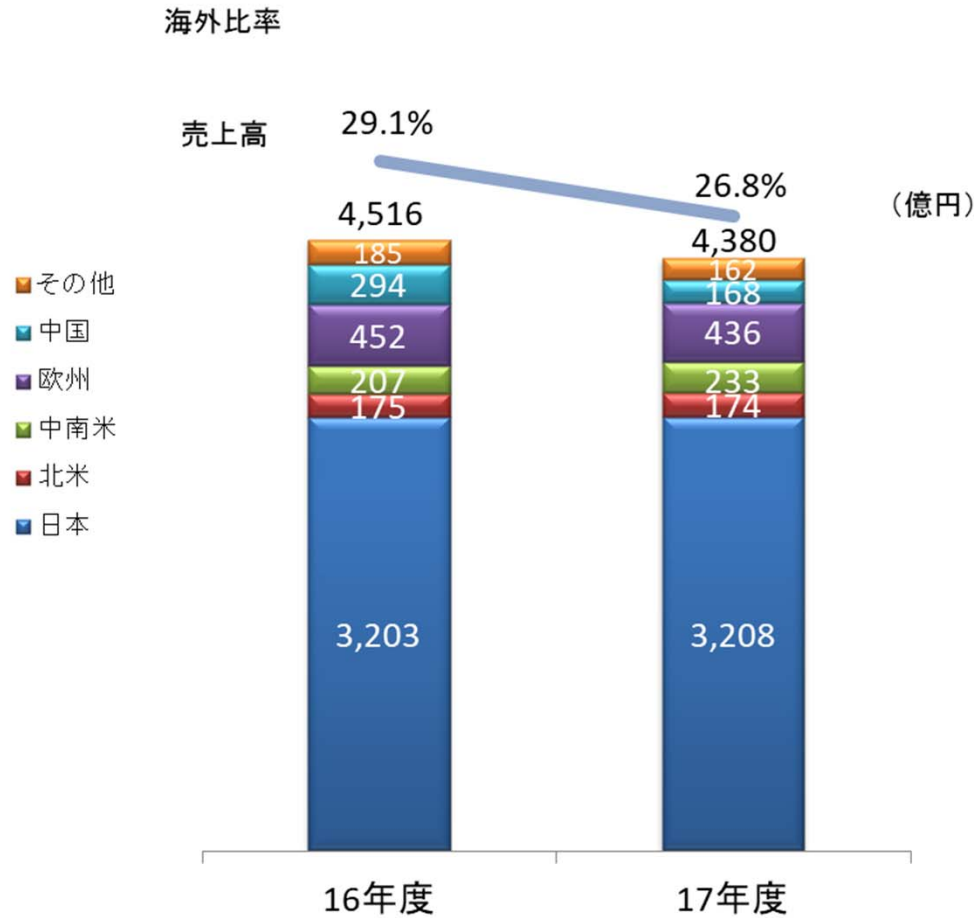
売上高・営業損益 四半期推移(プリンター)



売上高・営業損益 四半期推移(EMS)



地域別売上高



PL四半期実績推移

実績(億円)	16年度				17年度				18年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	通期 計画
売上高	932	1,061	1,056	1,467	904	1,036	1,060	1,380	4,500
営業損益	7	▲13	10	21	▲39	▲2	13	105	140
営業外収支	▲71	▲12	36	▲2	4	4	3	▲3	—
経常損益	▲64	▲25	46	19	▲35	2	16	102	130
特別損益	0	▲26	▲3	189	▲7	▲2	8	▲3	—
税引前損益	▲64	▲51	43	209	▲42	▲1	25	99	—
当期純損益	▲61	▲74	15	167	▲48	2	▲10	115	50

財務ハイライト

実績(億円)	16年度				17年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
総資産	3,871	3,719	3,796	3,607	3,442	3,480	3,576	3,718
純資産	992	931	925	972	909	908	920	1,021
有利子負債	1,187	1,078	1,097	870	844	811	827	819
自己資本	987	926	921	969	907	906	905	1,002
自己資本比率 (%)	25.5	24.9	24.3	26.9	26.4	26.0	25.3	26.9
DEレシオ(倍)	1.2	1.2	1.2	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8
FCF	161	▲33	81	287	26	▲9	15	26
現金同等物	571	430	470	520	489	441	448	455
平均レート(USD)	108.2	102.4	109.3	113.6	111.1	111.0	113.0	108.3
平均レート(EUR)	122.0	114.3	117.8	121.1	122.2	130.4	133.0	133.2

ご注意

※本資料における業績予想および事業計画等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断される一定の前提に基づいております。したがって実際の業績は様々な要因により、これらと異なる可能性があることをご承知おきください。

※億円単位の数値の表示方法について：

各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。

また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。



Open up your dreams